

## 平成 25 年度 コミュニケーションチーム活動検討会（第 1 回・第 2 回） 結果概要

## 1 日時・場所

- 【第 1 回】（日時）平成 25 年 4 月 11 日（木）16:30～18:30  
（場所）かながわ県民センター 3 階 304 会議室
- 【第 2 回】（日時）平成 25 年 5 月 16 日（木）16:00～18:00  
（場所）かながわ県民センター12 階 第 1 会議室

## 2 出席委員

- 【第 1 回】 足立 功、井上 貞子、音羽 真東、坂井 マスミ、中村 洋介、増田 清美  
【第 2 回】 足立 功、井上 貞子、坂井 マスミ、高橋 克矢、増田 清美

## 3 概 要

第 1 回、第 2 回とも、平成 25 年度の活動方針について検討を行った。概要は以下のとおり。

## (1) もり・みずカフェ アンケートについて

- 5 月 25 日開催の第 18 回 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム（もり・みずカフェ）で使用する来場者アンケートの様式や質問項目について、フォーラムの開催地域や会場の特性なども勘案しながら検討の上、決定した。

## (2) 平成 25 年度の新たな取組について

## ① 新たなツールの作成

- 平成 24 年度に作成したリーフレット「森は水のふるさと」に続く、新たな県民周知のためのツールの作成について検討を行い、以下の方針により、リーフレットを今年度中に作成することとした。

（作成の考え方）

「森は水のふるさと」を見て、森や水のことに興味を持った方（特に小学生）に、その次に読んでもらう資料としては、現在のところパンフレット「水源環境保全・再生をめざして」となるものの、親しみやすさ、分かりやすさの点からは必ずしも十分ではなく、分量もやや多い。

このため、パンフレットに代えて、水源施策のねらいや取組内容、成果について、一般の方や小学生に親しみを持って理解してもらうためのリーフレットを作成する。

## ② その他の取組

- 「森は水のふるさと」を学校に配布し、併せてコミュニケーションチーム委員による出前授業を実施する案について検討を行い、まずは、神奈川森林インストラクターの会による小学生を対象とした環境啓発の授業において、教材の一つとして試行的に使用してもらうこととした。

- 現在、県で実施している親子を対象とした現地見学会に、今年度はコミュニケーションチームメンバーも出席し、参加者と一緒に行程を回りながら、水源施策の取組内容などについて説明することとした。

### (3) リーフレット「森は水のふるさと」の配布計画について

- 平成 25 年度については、県民フォーラムや市民事業交流会など県民会議が主催するイベント、みやがせフェスタ等の水源環境保全課協力イベントのほか、第 1 回活動検討会での検討結果を踏まえ、全体で年間約 1 万部を配布する計画とする。

⇒【資料 4 - 2】参照

- リーフレットの読者が、水源施策やリーフレットの記載内容・方法に関して、どのような意見・感想を持っているかについて幅広く情報収集し、今後の検討材料として活用するための方法について検討を行い、まずは、神奈川森林インストラクターの会による小学生対象の授業において、教員からフィードバックをもらえるかどうか調整していただくこととした。

- 市民事業支援補助金交付団体で、普及啓発・教育事業として小学生を対象に環境学習を行っている団体への配布依頼や、小学校での総合学習での教材使用についても、実施可能性を含め検討する。

なお、小学校での教材使用の検討に関しては、対象地域や対象校を限定した実施が考えられるが、まずは、リーフレットの内容面の教材としての適性や実施方法等について、事務局において県教育委員会との事前調整を進めることとする。